



T.Miki

THE KEIO HAI NISAI STAKES

第61回 京王杯2歳ステークス (GII)

1着 38,000,000円 2着 15,000,000円 3着 9,500,000円 4着 5,700,000円 5着 3,800,000円
付加賞 560,000円 160,000円 80,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

2歳、除外馬および未勝利馬

負担重量 馬齢重量

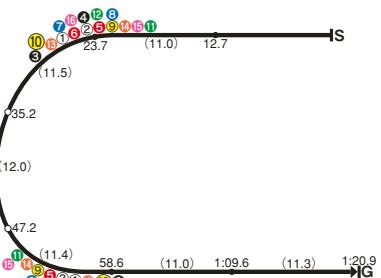
2025.11.8 東京 晴・良 芝1400m (国際 指定)

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
1	⑩	ダイヤモンドノット	牡2	56	C.ルメール	1:20.9	2-2	33.6	468(−6)	1.8①	福永祐一(栗東)	110	
2	⑫	フクチャンショウ	牡2	56	戸崎圭太	3	10-10	33.5	444(+12)	19.7⑧	加藤征弘(美浦)	104	
3	⑭	トワニ	牝2	55	菅原明良	クビ	14-14	33.0	416(±0)	67.4⑩	蛭名正義(美浦)	101	
4	②	シャオママル	牡2	56	A.ブーシャン	ハナ	8-6	33.6	432(−4)	14.6⑥	加藤土津八(美浦)	103	
5	⑩	ルートサーティーン	牡2	56	岩田康誠	アタマ	1-1	34.3	476(+4)	12.0④	辻野泰之(栗東)		
6	⑦	ユウファラオ	牡2	56	北村宏司	1¼	4-4	34.1	486(+4)	36.5⑩	森 秀行(栗東)		
7	⑯	リネンタイソン	牡2	56	柴田大知	½	15-15	33.3	464(−2)	351.4⑩	南田美知雄(美浦)		
8	⑧	ホットウトロット	牡2	56	石橋 脩	アタマ	12-12	33.6	452(+8)	70.7⑩	堀内岳志(美浦)		
8	⑯	レッドスティングガー	牡2	56	横山和生	同着	6-6	34.1	468(+6)	8.2③	矢嶋大樹(美浦)		
10	⑥	シュベリリング	牡2	56	津村明秀	1¼	6-6	34.3	428(−6)	7.6②	嘉藤貴行(美浦)		
11	①	ネネキリマル	牡2	56	佐々木大輔	ハナ	4-4	34.4	472(±0)	19.5⑦	河嶋宏樹(栗東)		
12	④	ミルベベスト	牡2	56	横山武史	ハナ	8-6	34.3	468(−2)	12.1⑤	中村直也(栗東)		
13	⑤	シーミハットク	牡2	56	三浦皇成	クビ	10-10	34.0	486(−2)	31.4⑨	寺島 良(栗東)		
14	⑪	フォトングイザー	牡2	56	木幡巧也	1¼	16-15	33.6	430(+2)	230.0⑩	牧 光二(美浦)		
15	⑬	フェーダーローター	牝2	55	原 優介	1¼	3-3	35.0	444(±0)	64.5⑩	天間昭一(美浦)		
16	⑨	コックオーヴァン	牝2	55	松岡正海	3	12-12	34.8	464(+4)	90.3⑩	伊藤伸一(美浦)		

単勝⑩180円(1%) 複勝⑩130円(1%) ⑫380円(7%) ⑭760円(11%) 枠連⑩-⑩-61,480円(5%)

馬連⑩-⑫1,510円(6%) ワイド⑩-⑫640円(6%) ⑩-⑭1,880円(19%) ⑫-⑭6,640円(60%)

馬単⑩-⑫1,940円(6%) 3連複⑩-⑫-⑭14,310円(45%) 3連単⑩-⑫-⑭37,670円(117%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
35.2 - 47.2 - 58.6 45.7 - 33.7

時間 : 35.2 - 47.2 - 58.6 45.7 - 33.7

アラカルト

・ C.ルメール騎手はモントライゼで制した20年に続く京王杯2歳S5勝目で、自身の持つ騎手最多勝記録を更新。JRA重賞は25年10勝目、通算169勝目

・ 福永祐一調教師は京王杯2歳S初勝利。JRA重賞は25年初勝利、通算3勝目

・ ブリックスアンドモルタル産駒はJRA重賞通算2勝目

ダイヤモンドノット Diamond Knot

牡 粟毛 2023.3.29生

北海道平取町 坂東牧場生産

馬主・金子真人ホールディングス(株) 栗東・福永祐一厩舎

馬名意味・紐の端に飾りの輪を作るための結び方

リアルナンバーARG系 F1-m		
ブリックスアンドモルタルUSA 栗毛 2014	Giant's Causeway 栗毛 1997	Storm Cat
		Mariah's Storm
	Beyond the Waves 黒鹿毛 1997	Ocean Crest
エンドレスノット 鹿毛 2009		Excedent
	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA
	ウイキウイキ 鹿毛 2004	ウインドインハーアIRE
		フレンチデビュティUSA
		リアルナンバーARG

5代までのインブリード: Storm Bird S 4 × S 4

INTERVIEW

荒木一仁マネージャー(坂東牧場)

ポテンシャルが高く期待していました

本馬の能力を全開にしたレースだったと思います。生まれた頃からしっかりとした馬体で気が強い性格でしたが、ポテンシャルが高く期待していた馬。後期育成までをこちらで行いましたが、福永調教師とコミュニケーションを取りながらうまく引き継ぐことができました。次走はGⅠかもしれませんが、牧場としては平地GⅠ未勝利ですので頑張ってほしいと思います。



Photostud

2025年の京王杯2歳Sは11月の2歳重賞には珍しく、フルゲート(16頭)を埋めた全馬が獲得賞金400万円の1勝馬。重賞好走歴を持つ馬も不在というメンバー構成で争われた。新馬未勝利戦を勝ち上がった直後の馬も9頭を数えたなか、圧倒的な支持(単勝1・8倍)を集めたのはもみじSの2着馬ダイヤモンドノット。キャリアを重ねつつ、着々と地力を磨いてきた同馬は、背負った期待に違わぬパフォーマンスを披露した。

先導役を務めたのは、内めの枠から軽く気合をつけられてスピードに乗つたルートサーティーン。五角以上の勢いで飛び出したダイヤモンドノットの

ブリックスアンドモルタル産駒の本馬は6月に阪神・芝1200mの新馬戦でデビュー(3着)し、距離を1400mに延ばした3戦目に初勝利。続くもみじSでは逃げ切った勝ち馬を捉え、4戦以上の馬は苦戦(優勝は2011年のレオアクト)が最後」という近年のレースの傾向も問題とせずに完勝。マイルの距離にも十分なメドを立てる内容で初の勲章を射止め、朝日杯フューチュリティSの有力候補の1頭

父ブリックスアンドモルタルUSA

北米13戦11勝(BCターブG1、ペガサスワールドCターブG1、オールドフォレスタークルラシックSG1、アーリントンミリオンG1、マンハッタンSG1、ムニスメモリアルHG2、競馬博物館名譽の殿堂SG2)、米年度代表馬、米芝牡馬チャンピオン、20年から供用

(代表産駒)アンモシエラ(JBCレディスクラシックJn I 2回、ブルーバードCJn III、羽田盃Jn I 2着、京浜盃Jn II 2着、クイーン賞Jn III 2着、東京ダービーJn I 3着、エンプレス杯Jn II 3着)、ダイヤモンドノット(本馬)、イーグルノワール(兵庫ジュニアグランプリJn II、全日本2歳優駿Jn I 2着)、ゴンバデカーブース(サウジアラビアロイヤルC GIII)、ゲルチュタール(青葉賞G3着、菊花賞G4着)、セシリエブラージュ(フィリーズレビューG3着)、アスクカムオンモア(プリンシパルS・L3着)、クイックバイオ(きょうS0p)

母エンドレスノット

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央26戦4勝(外房特別)

ゾンニッヒ(18 牡父ラブリーデイ)中央33戦6勝(しらかばS0p、青函S0p、若潮S、鹿野山特別、東風S・L2着、ダービー卿チャレンジトロフィーG3着、淀短距離S・L3着)④

ハッピーアズラリー(20 牡父ラブリーデイ)中央25戦2勝(八代特別)

アモールエテルノ(21 牡父ラブリーデイ)中央5戦0勝

チムグクル(22 牡父ラブリーデイ)中央10戦1勝 ④

ダイヤモンドノット 本馬(23 牡父ブリックスアンドモルタルUSA)中央5戦

2勝(京王杯2歳SG1、もみじS0p 2着) 獲得賞金53,354,000円

※17、19(不受胎)、24、25(死産)

祖母ウイキウイキ

北海道早来町 ノーザンファーム生産 中央1勝。24年死亡

エンドレスノット(09 前出)

ウリウリ(10 牡父ディープインパクト)中央6勝(CBC賞GIII、京都牝馬SGIII、安土城S0p、セントウルSGII 2着、阪神牝馬SGII 2着)

レレマーマ(12 驕父カネヒキリ)中央3勝

マカヒキ(13 牡父ディープインパクト)中央5勝(日本ダービーG1、京都大賞典GII、弥生賞GII、皐月賞G1 2着、札幌記念GII 2着、京都記念GII 3着2回、ジャパンC GIII 4着2回)、仮1勝(ニエル賞G2)、種牡馬

ナニアヒアヒ(14 牡父キングカメハメハ)中央0勝、ボルラノーチェ(ヒダカソウC、フローラインC)の母

ウーリリ(16 牡父ディープインパクト)中央3勝(六甲S・L、毎日杯GIII 2着)

圧倒的な支持に応えて重賞初制覇

2025年の京王杯2歳Sは11月の2歳重賞には珍しく、フルゲート(16頭)を埋めた全馬が獲得賞金400万円の1勝馬。重賞好走歴を持つ馬も不在というメンバー構成で争われた。新馬未勝利戦を勝ち上がった直後の馬も9頭を数えたなか、圧倒的な支持(単勝1・8倍)を集めたのはもみじSの2着馬ダイヤモンドノット。キャリアを重ねつつ、着々と地力を磨いてきた同馬は、背負った期待に違わぬパフォーマンスを披露した。

先導役を務めたのは、内めの枠から軽く気合をつけられてスピードに乗つたルートサーティーン。五角以上の勢いで飛び出したダイヤモンドノットの

C・ルメール騎手は馬と呼吸を合わせて2番手に腰を落ち着け、ゆったりとした流れでレースは進む。1戦1勝ながら、2番人気に支持されたシュペルリングは馬群の中団を追走。同舞台の1勝クラス戦で小差の2着に食い下がり、3番人気の支持を集めたレッドストライディングガーリーはその外に付けて仕掛けのタイミングを窺つた。マイペースの逃げを打つルートサーティーンは直線入口から加速。速いラップを刻んで坂を駆け上がつたが、モンドノットが、横一線の2着争いを制したフクチャンショウ以下を3馬身差に突き放して勝利を飾った。

ブリックスアンドモルタル産駒の本馬は6月に阪神・芝1200mの新馬戦でデビュー(3着)し、距離を1400mに延ばした3戦目に初勝利。続くもみじSでは逃げ切った勝ち馬を捉え、4戦以上の馬は苦戦(優勝は2011年のレオアクト)が最後」という近年のレースの傾向も問題とせずに完勝。マイルの距離にも十分なメドを立てる内容で初の勲章を射止め、朝日杯フューチュリティSの有力候補の1頭